

未利用市有地、社協が活用

菜園で生きがいも栽培

三浦市に今月、土いじりを通じてお年寄りに生きがいと健康をはぐくんでもらう「高齢者ふれあい広場」がオープンする。未利用の市有地を市社会福祉協議会が有効活用し、希望者に無料で開放する。ボランティアの指導員とともに汗を流し、家庭菜園や趣味の植物栽培などに自由に使ってもらおう。

広場は同市南下浦町菊名にある市有地で、面積は約千八百四十平方メートル。高齢者の健康増進や仲間づくりなどを目的に、市社協が市と土地使用貸借契約を結んだ。現在はまだ、開墾されておらず、排水設備の整備や草刈りなどの準備作業が進められている。

対象者は市内在住のおおむね六十五歳以上のお年寄りで、定員は二十人程度。一人当たり約十平方

方がの区画が割り当てられ、好きな植物や作物を栽培できる。未経験者でも気軽に挑戦してもらえよう、指導員が基本的な知識や栽培のコツをアドバイスする。指導員を務める吉野忠男さんは「それぞれの好きなように栽培を楽しんでもらえれば」と話している。肩の力を抜いて自然の恵みに触れれば、充実感を味わえること請け合いた。

三浦に今月、高齢者向けにオープン



三浦市社協が開設する高齢者ふれあい広場

土地の使用は無料だが、経費については自己負担。応募が定員を越えた場合は抽選となる。問い合わせは市社協 ☎ 04 68 (82) 1111。